

日本国際保健医療学会ダイバーシティ強化委員会活動概要（2023年度）

1. 情報発信：男女共同参画学協会連絡会、国際協力 NGO ジョイセフからの男女共同参画、ダイバーシティ&インクルージョン関連情報を、事務局を通じて全会員にメールマガジンのリストにて配信。
2. 若手のリクルート：年代ダイバーシティ拡大のため（特に当学会は若者の比率が比較的低いため）、当学会学生部会（一般社団法人には属さない任意団体だが、学会本体と協力覚書(MOU)ベースで協力関係にあり、学生部会代表は理事会メンバーでもある）への働きかけを通じて、若者の学会入会を促進。
3. 会員のデータ分析：全会員の入会年、年代、職種を分析し、ダイバーシティ強化のための提言を理事会に対して行った上、2023年男女共同参画学協会連絡会女性比率調査に回答。
4. 学会合同企画：2023年11月24-26日に開催された第38回日本国際保健医療学会学術大会（4学会合同の「グローバルヘルス合同大会2023」として開催）において、日本医師会の助成を得て、外国人学生・研究者が活動しやすい環境づくりについて考えるシンポジウム”Surviving in Japanese Academia -Exploring ways to globalize education and health system in Japan”を11月25日に開催。
5. 今後の活動計画：上記4.のシンポジウムの結果を受けて、外国人会員のリクルートについて検討。

以上。